

自主制作CGアニメ歴史解説文書の執筆要項

2022.11.21 DoGA

● 歴史解説文書

・歴史解説文書とは、自主制作CGアニメに関する様々な歴史的な事象、特にネットにも掲載されていないような、人の記憶に頼らないといけない事柄を、当事者、関係者、専門家等が、覚えていることを、覚えている内に、書き記した文書です。

・内容としては、例えば、

- 作品 : 重要な作品の作品解説
- 人 : CGアニメクリエイターや関連団体の活躍
- 技術 : CGアニメ制作に関連するハードやソフト、技法の紹介
- イベント : 上映会や映画祭、出来事
- 文化・産業 : 他の文化・産業への影響

などを想定しています。

● 趣旨

・CGアニメコンテストの入選者の方から、
「ネットで検索して出てこないことは、すべて無かったことになってしまう」と言われました。

自主制作CGアニメ界の方々が行ってきたこと、努力、工夫してきたことを、その記憶が失われる前に、ちゃんと記録し、まとめて保存するべきだと。

・そのアーカイブが、具体的に、すぐに、何かの訳に立つとは思いません。後世の研究者の資料にはなるかもしれませんが。

しかし、既に失われた情報も多く、失われると二度と手に入らない可能性が高いので、とりあえず、残せるものは残しておきたいと思います。

・ただ、“正確に完璧に残そう”とか、“すべてを網羅しよう”などと考えると、すごく大変な作業になってしまい、結局、いつまで経っても書けません。ですから、覚えていることだけでよい、うる覚えでよい、些細なことでもよいという方針です。

多くの文書資料を集めることで、お互いの情報を補完しあえれば幸いです。

皆さんも、残したい記憶を、気軽に書いてみてください。

● 要項

- ・掲載サイト : CGアニメアーカイブ/歴史解説文書
<https://archives.CGanime.jp/chronicle/>
- ・掲載メディア : PDF
(最終的にPDFになれば、どのようなワープロソフトを使用しても構いませんが、DoGA側には一太郎とwordしかありません)
- ・文書フォーマット : A4縦、横書き
書式詳細は、別紙資料参照
- ・ページ数 : 任意(表紙+1Pでも可)
数十ページ以上の場合は、分割することを推奨
- ・執筆者 : 個人でも団体でも可。座談会やインタビューをまとめた文書も可。

●著作権等

- ・著作権は、執筆者に残ります。
- ・ただ、趣旨から言って、DoGAは、様々な機会を通じて、頂いた文書を公開していきます。ですから、著作権者はDoGA及びDoGAが認める第三者に対して、いかなる著作権も行使しないものとします。
- ・文責は、執筆者に残ります。誹謗中傷などは書かないでください。
- ・ですから、ペンネーム等は問題ありませんが、匿名の投稿はお断りします。

◇引用

- ・他者の著作権を侵害しないように、ご注意ください。(特に、掲載する画像、写真など)
- ・ただ、本文書は、研究・学術的文章に相当すると思われるため、正当な範囲内で「引用」が可能と思われます。
- ・引用が成立するためには、以下の三点が必要です。
 - 1)主従 :自分の論がメインで、引用しているものは、ほんの一部であること。
 - 2)区分 :引用部分がどこなのか、明確であること。
 - 3)出所明示 :誰の著作物で、どこから引用したのか、引用元を明示すること。
- ・なお、“客観的な事実やデータ”は、著作物に該当しません。例えばPCのスペック表などから情報を取ってくるのは、なんら問題ありません。

●その他・諸注意

- ・基本的に、DoGA側は、皆さんからご提供頂いたPDF文書をそのまま掲載するだけです。内容や誤字脱字のチェック、書式合わせなどをご希望の場合は、別途お申し出ください。
- ・内容によっては、折角書いていただいても、サイトに掲載できない可能性があります。また、一旦掲載した文書を削除することもあり得ます。
- ・掲載サイトやサンプルの歴史解説文書の作成は、令和4年度 文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業の一環として行われ、その費用の一部を助成して頂いています。

以上